



わたしの夢

川俣小学校6年

高根 優花^{ゆうか}

たくさんの人を助ける
優しい看護師になりたい

わたしの夢は、たくさんの人を助ける看護師になることです。私が看護師になりたいと思ったのは小学校3年生の頃で、きっかけは医療現場で働く看護師が主人公のドラマを見て「自分もこの主人公のようにたくさんの人を助けたい」と思ったからです。看護師になりたいということ、母に話したことがあるのですが、母は「大変だと思うけど勉強頑張つてね」と応援してくれました。看護師という仕事は夜勤などもあり体力が必要な仕事だと思っています。しかし、私は長距離走やなわとびが得意で体力には自信があるので、引き続き体育の授業などを頑張り体力をつけたいと思います。また、勉強に関しては、私は算数が苦手なのですが、私が見たドラマの中でも看護師の主人公が命を諦めず頑張っていたように、私も苦手だからといって諦めることのないようにして勉強も頑張りたいと思います。何より人に優しくするというのを大切に学校生活を送りたいと思います。

町長のひとこと vol.49



この度、本町の公衆衛生の向上のため設立から70年活動してきた保健委員会が解散となりました。当時の町の衛生環境といえば、大変劣悪な状況であり、私の小学生時代は、汲み取り式のトイレが一般的。そのためトイレは「臭く、汚い場所」というイメージが定着しており、家の奥や母屋から離れた場所に設置されていました。また、ゴミは町内の一部地域では収集されましたが、すぐ焼却されず、焼却場の周りにはゴミがあふれ、ハエや蚊が発生していました。また、河川や道端にはいつも捨てられたゴミが目につきました。しかし、高度成長期とともに、上水道やし尿処理場の開設のほかゴミ分別収集・焼却等により、衛生環境が改善していきました。このような中で、町の公衆衛生活動事業が、歴代の保健委員の皆様の活動に支えられてきましたことに、改めて心より感謝申し上げます。